

■開催概要

平成27年10月に策定した「五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の推進にあたり、各事業の評価・検証を行うことを目的として開催しました。

意見交換では、4つの基本目標ごとに、数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成に向けた取り組みの方向性や今後の展開、施策・事業の改善点などについて、ご意見・ご提案をいただきました。

| | |
|------|---|
| 日時 | 第1回 令和2年7月31日（金）午前10時～12時 第2回 令和2年8月6日（木）午後2時～4時 |
| 会場 | 五泉市役所 401会議室 |
| 参加委員 | 第1回 17名、第2回 12名 （産学官金労言士の各分野計19名で構成） |
| 内容 | ●説明 （1）五泉市総合戦略について （2）総合戦略の検証方法について ●意見交換 令和2年度事業での「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」 |

■実施状況



市民検討委員会の様子

■意見交換「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」

| 基本目標 | 意見 |
|----------------------|---|
| I 未来世代を 守り育てる | <p>【基本方針1】結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の婚活の本気度に差があるような雰囲気がある。イベントの内容に参加しやすい工夫を加え、団体だけでなく、市役所等も含め取り組むことが必要だと思う。 子育て環境の整備が重要。授乳室・多目的トイレなどの施設は市役所、支所など限られた施設にしかないと感じている。観光など他分野でも好影響だと思うので、さらに拡充をお願いしたい。 |
| II 産業の活力を 高める | <p>【基本方針1】五泉ブランドの競争力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 五泉で農業やってみ隊支援事業に具体的な成果はあったか。 → H29、H30に地域おこし協力隊として任用したが、いずれも定住には結びつかなかった。 ニッフェスを最終的には「五泉ニット」に限らず「五泉」のフェスにできれば、五泉の地域活性化に寄与できると思っている。今後も継続し、拡大してもらいたい。 服以外の様々なアイデアのアイテムを若い人向けに発信してもらいたい。 <p>【基本方針2】産業振興と就業環境の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効求人倍率がやや低い水準。中小事業者を含めたポトムアップが必要。 |
| III 五泉の魅力をつなげる | <p>【基本方針1】地域の特性を活かした交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜アロマ事業の商品は、商品の周知が思うように進んでいない。まずは市内の方から商品を知ってもらうよう、PRに力を入れてほしい。 桜アロマ事業に、商品開発が進んでおり、うどんなどは高い評価を得ている。販路拡大を進めてほしい。 観光客数は天候に左右され、特に今年はコロナ禍もありかなり厳しい状況。ニット同様、村松の桜もブランド化できれば。 桜アロマ事業は、効果があるかないかといえば、やらないよりはやったほうがよく、指標未達成でも効果はあったと考えている。もちろん、費用対効果が出たかは考えなければいけない。村松の桜の有効活用として始めたことで、もともとは外国人や観光客をターゲットにしていた。まだ時間がかかると思うが今後もPRを進めていく。 桜アロマは五泉市活性化の起爆剤になりうると考えている。中学校でも桜アロマ関連の授業を行っており、PRになっていると思う。 観光客数の減は天候の影響で仕方ない部分はある。 観光の拠点としても複合施設には期待している。 <p>【基本方針2】地域の魅力を活かした移住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 空家対策事業について、業者と行政で連携を密にすることが必要。 |
| IV 確かな暮らしを 充たす | <p>【基本方針1】未来へつながる安全・安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学生の変質者遭遇事案が多く、悪質なものもある。防犯用のGPS付きの防犯グッズがあれば、配布などお願いしたい。 わざわざ有料の特定健診に仕事を休んで行ってもらうのは難しい。特定健診に特別なメリットが必要では。 救急患者の市内搬送率を上げることは難しいのではないかと。新潟市に行ってしまうことが多いと思う。 公共交通の利用者は人口減少もあり、なかなか伸ばすのは難しい。まちづくり全体を考えていかないと難しい。 |
| 総合戦略全体 に対して | <ul style="list-style-type: none"> 総合戦略やその事業自体はよい取り組みだが、取り組んでいることを広く伝えるのが難しい。若い世代から高齢者まで伝えるため、同じ内容を幅広い様々なメディアで伝えることが重要だと思う。 |